

40. 山田孝雄の句碑

問 山田孝雄先生の句碑が仙台にあると聞いていますが、それは何処にあり、いつ建てられたもので
(1)
すか。またその句も教えてください。他の図書館で調べましたが、詳しいことがわかりませんので、
お願いします。

答 おたずねの句碑は、仙台北城址天守台の護国神社境内、拝殿の左側にあります。昭和42年に、山田
孝雄先生記念碑建設期成会が、歿後9周年を記念して建立したもので知未亡人と令孫を招いて10
月29日除幕式を行いました。⁽²⁾福島県石城郡の鮫川石に据えた高さ約1.5mの丸森町産大倉石の碑石
に、連歌発句の一つ、昭和29年正月の作

【天地の

今わかるるや

初日影 孝雄】

と自筆が彫られています。そして建碑のいきさつが、その碑背に次のように刻まれています。

『山田先生学博く徳高く国

語を説き古道を極めてその名世に

あまねし仙台市在住前後二十余

年昭和三十三年この地において

生を終へらるその恩に浴せる者

全国各地より志を寄せ記念の碑を

建て先生自筆の連歌発句を刻みて

長く学徳をしのぶよすがとす

昭和四十二年七月

山田孝雄先生記念碑建設期成会』

注(1) やまだよしお。明治6年〔1873〕5月10日富山市に生れた。真実の(戸籍上も)生年月日は明治8年8月20日だったが、明治24年12月15日小学校教員の免許を受ける時資格年齢不足を避けるため生年を2年遡らせて明治6年とし、これで生涯を通した。そのための戸籍の訂正は、明治30年6月10日に完了したと、自ら記録している。このような便法は全国的によく行われていたもので「回顧録」(佐藤郁次郎、昭和7)にも『其頃ハ役所官庁ニテモ学校入学志願ノ為必要ニ付何歳ノ証明ヲ願フト申出ツレハ善事ノ為ノ使用ナレハ奨励コソ為ス可ケレ之ヲ阻害スルハ理由ナシトノ意見ナルヤ殆ト公然ノ秘密ヲ以テ年齢ノ証明ヲ希望通ニ与ヘタル訳ナリ。』とある。独学で教員資格を取り中等教員となり、国語学のす

ぐれた研究成果を次々と発表した。日大教授から大正14年東北大学に招かれ、昭和2年教授、15年神宮皇学館大学学長となった。戦後、阿部次郎の友情により24年再び仙台市米ヶ袋に住むことになった。28年文化功労者に挙げられ、32年文化勲章を受けた。33年11月20日、83才で歿した。その著書・論文5百50余編の多きにのぼり、国語学の最高権威として知られている。

注(2) 前宮城県農業短大学長三沢房太郎・東北大学教授佐藤喜代治らが発起人となっている。

資料 河北新報（昭和42年10月30日号）

訥言録（佐藤喜代治）

仙台の散策（佐々久）

41. 仙台市内にある芭蕉碑

問 仙台市内には、どのような芭蕉碑がありますか。

答 県内には45基の芭蕉碑がありますが、そのうち仙台市には、次のような5碑があります。

1. 西公園の句碑（田植塚）

桜岡大神宮の北隣に「風流のはしめや奥の田植うた」の句を、半割りの表面を磨いた石に刻んだ碑があります。芭蕉2百年忌に当る明治26年、蕉風の流れをくむ人々の手によって建てられたものです。⁽¹⁾

2. 榴岡天満宮の句碑（月日塚また赤日塚）

芭蕉とその門弟支考（蓮二翁）との句を併刻した句碑が、境内に建っています。現在県内で知られている芭蕉句碑中最も古いものです。芭蕉50回忌にあたる寛保3年〔1743〕2月に建立したもので、切石の碑面に、

「芭蕉翁 あかあかと日はつれなくも秋の風

蓮二翁 十三夜の月見やそらにかへり花」と刻まれています。芭蕉のこの句は、「奥の細道」の後半金沢近郊でよんだものです。蓮二の十三回忌追善のため蓮二の門人雲裡坊の建立したものであります。⁽⁴⁾昭和52年3月1日仙台市の有形文化財に指定されました。なお、境内社務所前には「正風社団碑」があって、その中央に

「花咲て七日鶴見る麓かな」の芭蕉の1句が彫られています。芭蕉は仙台滞在中、元禄2年〔1689〕5月7日天満宮に参詣しています。⁽⁵⁾

3. 薬師堂准胝〔じゅんてい〕観音堂境内の句碑（艸鞋〔わらじ〕塚、染緒塚、あやめ塚）